

## 据え付け工事をされる方へ



●この製品は日本国内用です。電源電圧や電源周波数等の異なる海外では使用できません。




## 安全上のご注意

(RW-224P形を据え付ける場合)














お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は、表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	「死亡または重症を負うことが想定される」内容です。
 <b>注意</b>	「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

## ■据え付け上の注意事項

 <b>警告</b>	
 <b>厳守</b>	据え付けおよび移設は、お買上げの販売店または、水道事業者または指定給水装置工事業者に依頼してください。 ご自分で工事され不備がありますと、水漏れや感電・火災の原因になります。
 <b>厳守</b>	不安定な場所に設置しないでください。 転倒・落下によるけがなどの原因になることがあります。
 <b>水ぬれ禁止</b>	屋外に据え付けしないでください。また、水の掛かる場所や湿気の多い場所には据え付けしないでください。 絶縁が悪くなり、漏電し感電や火災の原因となります。
 <b>アース設置</b>	アースを確実に取り付けてください。 故障や漏電の時、感電の原因になることがあります。 電気工事業者によるD種接地工事が必要です。
 <b>厳守</b>	定格15Aのコンセントを単独で使ってください。 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。
 <b>禁止</b>	定格電圧（单相100V）以外で使わないでください。 定格電圧以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になることがあります。
 <b>厳守</b>	電源プラグはコンセントに刃の根元まで確実に差し込み、ほこりが付着しないよう定期的に清掃してください。 異常発熱や火災の原因になることがあります。
 <b>禁止</b>	電源プラグをウォータークーラーの背面で押しつけないでください。 電源プラグを傷つけ、感電や火災の原因になることがあります。
 <b>注意</b>	
 <b>厳守</b>	専用の漏電遮断器を設置してください。 漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
 <b>禁止</b>	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
 <b>厳守</b>	給水源に貯水槽や浄化装置がある場合は、水質にご注意ください。 雑菌により健康を害するおそれがあります。

裏面もごらんください。

# 据え付け工事をされる前に

- 給水源には必ず水質基準（厚生労働省令第101号）に適合した飲料水をご使用ください。
- 給水圧はゲージ圧0.15～0.7MPaの範囲内でお使いください。
- 据え付け工事が完了したら、お客様に取扱説明書の内容をよくご説明ください。

## ■据え付け場所について

据え付け上の注意事項に従いお客様の同意を得てから据え付けてください。屋内に据え付けしてください。屋外や水の掛かる場所、湿気の多い場所には据え付けしないでください。

## ■配管類の洗浄

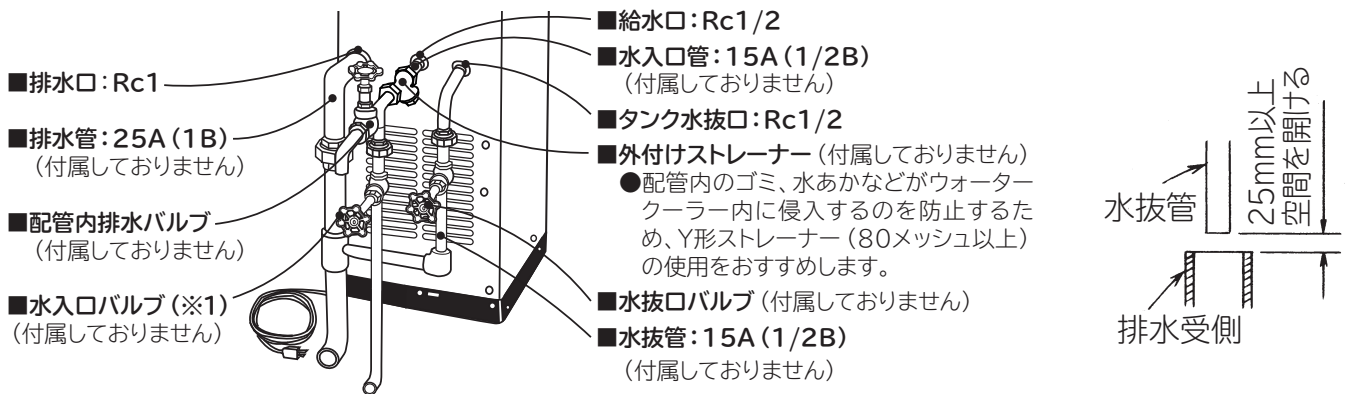
配管類は接続する前に充分洗浄してください。配管類には、切り粉、切削油、異物などが付着しています。これが混入すると、ストレーナーが詰まったり、異臭を放つ水が出るおそれがあります。

このウォータークーラーは元止式です。

ノズルからさらに配管を延長したり、その配管にバルブを接続してお使いになりますと、冷却タンク内に大きな圧力がかかり、タンク亀裂、水漏れのおそれがありますので、改造してご使用にならないでください。

# 据え付け工事をされる場合

配管は、水道法施行令第5条等に適合することが確認された硬質塩化ビニルライニング鋼管、硬質塩化ビニル管等をお使いください。



※図は配管の一例です。各配管に記載した配管径は、硬質塩化ビニルライニング鋼管を使用する場合の配管径です。

1 水抜口バルブ、水抜管は冷却タンクの洗浄に必要ですので必ず配管を接続してください。

●水抜口バルブは冷却タンクの洗浄、水抜き時以外は必ず閉じてください。

2 水抜管と排水受側の間には必ず25mm以上の空間を開けて、逆流を防止してください。

3 配管内の水抜きを行うために配管内排水バルブを取り付けてください。配管内の水抜きを行いませんと冬期など周囲温度が0℃以下になる場合、凍結して破損するおそれがあります。

4 排水管の製品側の継手は硬質塩化ビニル製です。配管接続時に強く締め過ぎると、継手が割れるおそれがありますので、締め過ぎないように注意してください。

5 ご使用になる外付けストレーナーの取付方向を確認し、ストレーナー内の網が取り出し可能な位置に設置してください。詳細は、取り付けたストレーナーの取扱説明書をよくご確認ください。

## ■配管を接続するときのご注意

- 水入口バルブは、ノズルから出る飲料水量（噴水高さ）調節のため、水量調節に適するグローブバルブ型を推奨致します。（※1）
- シール剤は、配管が詰まったり、水に臭いが移るようなものは使用しないでください。
- 据え付け後、次頁の「冷却タンク内および配管内の洗浄」の手順で配管内に通水し、外付けストレーナー内の網の詰まりを確認してください。異物があった場合は網を清掃し、異物が無くなるまで配管内の通水を行ってください。網の清掃は、圧縮空気または流水で行い、網を破損させないように注意してください。また、お客様へもこまめな清掃が必要である旨をご説明ください。

## ……据え付け工事をされる場合（続き）

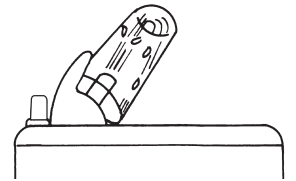
### ■冷却タンク内および配管内の洗浄

据え付け当初は、飲料水に配管などの臭い移ることがあります。臭いが消えるまで次の手順で充分水を流してください。

- 1 水抜口バルブを開けます。
- 2 水入口バルブを開けます。
- 3 ボタン連続レバーをセットします。

### ■冷却タンク内への給水

- 冷却タンク内などの洗浄が終わりましたら、水抜口バルブを閉めてください。
- 冷却タンクへ水が入ると同時に、ノズルから冷却タンク内の空気が飲料水と混じって噴出するので、図のようにコップをかぶせ飲料水の飛び散りを防いでください。
- 正常な噴水になったら、ボタンを押して連続レバーを外してください。

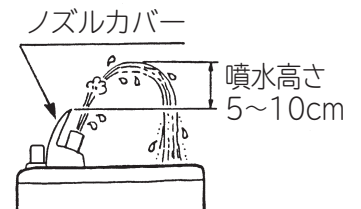


### ■ノズルから出る飲料水量調節

- ノズルから出る飲料水量調節は、次の手順で水入口バルブの開閉で行います。

- 1 水入口バルブをいったん「全閉」にして、ボタン連続レバーをセットしてください。
- 2 水入口バルブをゆっくり開けてゆき、ノズルから出る飲料水量を見ながら調節してください。
- 3 再度調節を行う場合は水入口バルブを再度「全閉」にしてから行ってください。

- 噴水の高さはノズルカバーの上端より5~10cmが適当です。飲料水は、出した瞬間だけ高く飛び、水受皿から飛び出すことがあります。飲料水を出した瞬間も水受皿から飛び出さない高さに、水入口バルブで飲料水量を調節してください。

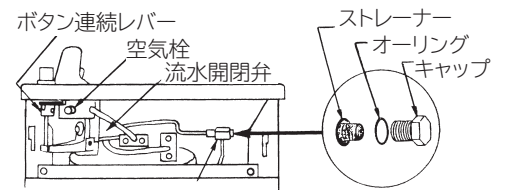


### ■ストレーナーにごみなどが詰まった場合

前パネルを外すと、ストレーナーが図の位置に組み込まれています。

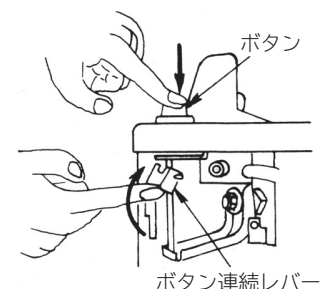
ストレーナーにごみなどが詰まると、水の出が悪くなります。ごみなどが詰まった場合は、ピンセットで取り除いてください。キャップは、ケースとキャップそれぞれにスパナをかけて外してください。

- ストレーナーは図の向きで奥まで確実に挿入してください。
- オーリングはキャップの溝に確実に挿入し、キャップ締付け後は水漏れを確認してください。



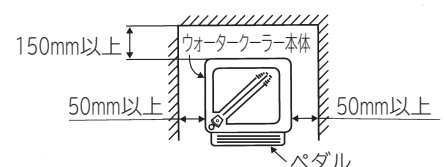
### ■ボタン連続レバーのセットのしかた

- 図のようにボタンを押したまま、ボタン連続レバーを上方に90°回します。
- そのままボタンを離して、ボタン連続レバーをセットします。
- 再度ボタンを押すと、ボタン連続レバーが外れます。



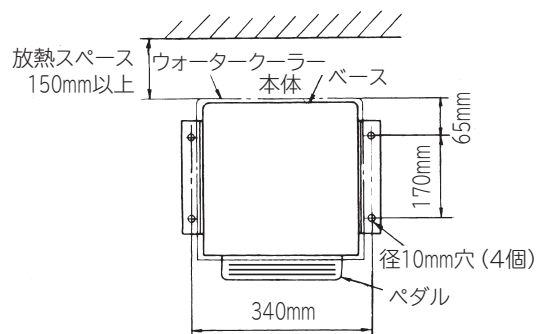
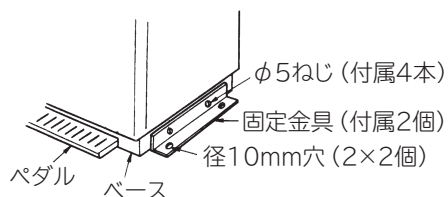
### ■放熱のための隙間について

- ウォータークーラーの周囲には、図のような隙間をとってください。隙間をとらないと、冷却力が弱くなり電気代のむだにもなります。
- 放熱グリルの周囲は、カバーなどで覆わないでください。



## ■本体を床面に固定するとき

- 転倒防止のため、ベースの両側面に付いている固定金具を図のように反転して取り付け、市販のM8アンカーボルト等を使用して床面に固定してください。



## ■アース接続について

- 万一、漏電した場合の感電防止と機械の保護のために必ず正しいアースをしてください。アースはD種接地工事（電気設備基準で定める接地抵抗100Ω以下のもの）が必要です。
- アース線は背面にあるアース接続ねじに接続してください。

### ⚠警告

#### ●アース工事を必ず行う

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース工事は必ず、販売店または専門業者に依頼してください。

